

夏休み中も読書&勉強



【本の貸し出し・返却】



【夏休みの課題への取組】

夏休み中も、プール教室の開催日に合わせて、図書室を6日間開館しました。図書室に行ってみると、とても多くの児童がいるのに驚きました。前の机では、当番になっている図書委員会の児童が、慣れた手つきでPCを操作して本のバーコードを読み取り、貸し出しと返却の確認作業を行っています。大変そうな様子は見せず、手際よく作業を進める姿に、責任感の強さを感じました。図書委員会のみなさん、ありがとうございます。

また、隅のテーブルでは、数名の児童が鉛筆を持ち、勉強に取り組んでいました。「何をしているの?」と尋ねると、「夏休みの宿題です。家族で旅行に行くので、早く終わらせたいんです。」と答えてくれました。計画的に学習に取り組む姿、とても立派だと思います。

転入生仲間入り

2学期から、新たに8名の児童が、転入生として六小に仲間入りしました。

8月28日(水)、職員室で紹介した後、体育館で行われる始業式の前に、全校児童の前で自己紹介しました。どの児童もしっかり自分の名前を言うことができました。一日も早く六小に慣れて、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。なお、転入児童は以下の通りです。



【自己紹介】

- ① 1年1組 ラ・ヨントウンくん (美園小より)
- ② 4年1組 エスタさん (美園小より)
- ③ 4年1組 宇治川瑠莉さん (一小より)
- ④ 4年2組 田中美咲さん (十小より)
- ⑤ 4年2組 小林藍さん (大泉南小より)
- ⑥ 4年2組 原幸恵さん (志木市宗岡第三小)
- ⑦ 5年2組 原洋子さん (志木市宗岡第三小)
- ⑧ 5年2組 宇治川莉来さん (一小より)

あいさつをしよう

9月4日(水)朝会で「あいさつ」についての話をしました。概要は以下の通りです。あいさつは、漢字で書くと「挨拶」と書きます。この漢字には意味があります。

挨拶 = 心を開くこと 挨拶 = 相手に近づくこと

つまり、あいさつは「自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手に近づいていく」とい

う意味です。だから、あいさつをする時は、相手の目を見て、明るく心をこめることが大切です。私たちが普段行っているあいさつにも、それぞれ意味があります。

①ありがとう＝有り難う

「めったにないこと」「なかなかできないこと」という意味なので、感謝やお礼の言葉として使用します。

②いただきます＝戴きます

「物をもらう時の感謝する」という意味で、食べ始める前のあいさつとして使用します。

③ごちそうさま＝御馳走様

「食事を用意するために苦労して走り回る」という意味で、食事を用意してくれた相手への感謝の言葉として使用します。

④さようなら＝然様なら

「お別れですね。ご機嫌よろしく」という意味で、人と別れる時のあいさつとして使用します。その他にも、普段使っているあいさつはたくさんあります。また、六小でも青少年赤十字によるあいさつ運動や、児童会によるあいさつ運動、クラスでのあいさつ運動等も行われています。六小があいさつあふれる学校になるように、みなさんで頑張ってください。



安全な利用を心がけましょう

～館林市ケータイ・スマホ実態調査～

5月に館林市教育委員会が小学校6年生と中学校3年生及びその保護者を対象に行った「館林市ケータイ・スマホ等実態調査」の結果がまとまりました。

小学校6年生の結果を見ると、携帯電話またはスマートフォンの所持率は、男子32.4%、女子48.5%、全体40.0%でした。昨年度より所持率は上昇しています。また、インターネットが使えるゲーム機・音楽プレーヤーの所持率は男子81.8%、女子56.9%、全体70.0%です。これは昨年度とほぼ同様の結果です。

調査結果からは、昨年度に比べ、家庭内での約束や午後9時以降の使用について改善されていることがうかがえます。これも保護者の方のご理解・ご協力のおかげだと思います。しかし、いまだに約束なしで使用している児童がいることも事実です。子どもに携帯電話やスマートフォンを持たせるのは、保護者の判断であり責任です。その際には、家庭で話し合い「我が家のきまり」を必ずつくってください。子どもたちを危険から守るためのご理解とご協力をお願いいたします。



こんな子を見つけました ⑤

7月21日(日)、近藤沼野球場で「六美杯野球大会」が行われました。この大会は、第六小学校と美園小学校の育成会の野球チームが集まって試合を行うもので、今年で29回目になります。

私は試合を観戦するため、朝から会場に向かいました。駐車場に到着し降りる際、天気心配だったので、傘を持って行きました。バックネット裏で試合を観戦していましたが、他の用事もあり、途中で会場を後にしました。車に乗り、駐車場を出ようとした時、走って追いかけてくる女の子と、その母親に気づきました。よく見ると、私がお場に置き忘れた傘を届けに来てくれたのです。

その時は慌てていてゆっくり話ができなかったので、後日学校で会った時に、あらためてその時の話をしてお礼を言いました。相手を思いやる優しい行為に、心を満たされた一日でした。

